

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	順位																
〃	〃	〃	神奈川県俳句 連盟賞	七夕祭り実行 委員会委員長賞	平塚俳句協会 会長賞	神奈川県俳句 連盟会長賞	神奈川県現代俳句 協会会長賞	平塚市文化連盟 会長賞	平塚市 教育長賞	神奈川県 教育長賞	平塚市議会 議長賞	神奈川県議会 議長賞	平塚市長賞	神奈川県知事賞	賞																
9	9	9	10	10	11	11	12	12	13	13	14	15	15	30	総得点																
3	5	6	3	6	3	5	5	4	6	3	8	4	3	8	7	12	0	8	4	8	5	10	3	4	10	9	6	12	3	16	14
47	24	63	10	99	17	73	4	100	39	54	22	61	12	72	46	34	15	62	7	59	3	118	78	41	20	74	6	96	2	総得点 得点句番	
かなかなの沁みる声降る墓前かな	炎天のアインシュタイン核の闇	公園に働く蟻と遊ぶ蟻	ひぐらしや線路は永遠に平行線	歩かねば老いが濃くなる朝曇り	かなかなの声に帰心が点りけり	夏のれん守る女将の京言葉	蛸や実家の表札考のまま	螢火や葉擦れの音に父の声	かなかなや今ならわかる父の言	かなかなやロゼのワインの冷えるころ	髪切って少し悔いあり夏帽子	たましいを洗濯に来る蓮の花	かなかなや小さくなった母がいる	去る者は追はぬ主義なり心太	かなかなや暮れ初む矢来能楽堂	片蔭の道に残りしチヨークの絵	蛸の声に送られ父逝きぬ	逢うまでは目深に被る夏帽子	煮こぼれのやうに蛸鳴いている	地に足をつける暮しや茄子の花	蛸の声透き通る坂の街	鉄棒に置いてきぼりの夏帽子	かなかなや無言館なほ去りがたく	かなかなや鉄錆句ふ外階段	宣誓の声に芯あり夏旺ん	更衣娘の第二反抗期	かなかなや鳴き移りゆく女坂	かなかなや母の声なき母の家	特攻の遺書なほ紙魚を寄せ付けず	受賞句	
平塚	中井	大井	茅ヶ崎	茅ヶ崎	茅ヶ崎	茅ヶ崎	中井	川崎	茅ヶ崎	厚木	大井	横浜	茅ヶ崎	茅ヶ崎	茅ヶ崎	地区															
那須野恵美子	長谷川昭放	中村昌男	日高朝代	東 花梨	中野しおん	尾崎竹詩	荒理依子	杉本三明	北村純一	中根登美子	渡辺長汀	坂口和代	塚本治彦	清水吞舟	氏名																

席題

「蛸・かなかな」

「当季雑詠」